

令和7年度 第4回

日南市教育委員会

会議録

令和7年7月24日(木) 午後3時から
日南市役所・別館2階会議室（会議室5）

- 1 会議の名称 令和7年度教育委員会 第4回会議（定例）
- 2 会議日時 令和7年7月24日（木）
午後2時50分から午後4時10まで
- 3 出欠確認
（1）出席委員 都甲政文、別府信一、八木真紀子、佐藤泰信、谷口智子
（2）事務局 教育部長兼学校教育課長
生涯学習課国スポ・障スポ準備室室長補佐
学校教育課管理係長
学校教育課管理係主任主事
- 欠席 学校教育課担当監
生涯学習課長
- 4 場所 日南市役所 別館2階会議室（会議室5）
- 5 傍聴者 1名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和7年度第4回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認
【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」
【鬼束部長】
「赤池担当監が所用により、欠席となっております。また重永課長がですね、隣の部屋で当事者会に出席しておりますので、代理としまして国スポ・障スポ準備室の谷口補佐が出席しております。」
【都甲教育長】
「本日傍聴の方は1名ですね。よろしくお願いします。」

8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【都甲教育長】

・6月22日セントゲイブリエル中学校の送別会だったんですけども、今年もですね、非常に涙のある送別会でした。8月の2日からは、今度は北郷の子たちがシンガポールに行く予定です。

・それから7月1日、日南税務署の所長さんがですね、転勤ということで挨拶に来られました。もう税務署は7月1日なので、東京から来られて東京に帰られました。マルサの方です。東京国税局査察部に帰られました。

・続いて7月1日がですね、これ社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達式。毎年なんですけども、黄色い羽根ですよ。結局刑務所から出てきた、そういう人たちをしっかりと更生させようってことで、今年は飢肥中のもですね、女子の生徒会の子が読んだんですけども、そういうメッセージを伝えてくれて、非常に良い伝達をしてくれました。

・7月2日、こども課の事業説明でフードリボンですね。フードリボンを日南でも2つの事業所が始めてくれたと。「油津珈琲+」ともう1つは「黒木屋」。新聞に載ってましたね、割と大きく。その説明でした。

・同じく7月2日、宮崎県こども・若者総合相談センター「わかば」。これは結局いろんなので悩んでる子たちの相談センターです。去年あたりからLINEのもですね、相談も始めたら非常に増えたってことで。今年からヤングケアラーの子たちにも目を向けようってことで、担当の方もいらっしゃったしですね。場合によっては学校に行って、ヤングケアラーに対する先生たちへの啓発のための研修会をさせてくれってことでした。

・続いて校長会ですね、7月2日。同じく昼からだったんですけども、非常に今言ったようなものの説明があったものですから、校長先生方にはそういうものを聞いていただくような校長会になったんですが、校長会としては7月、非常に暑い日が続くけども、やっぱり暑さに対する子どもたちの安心安全ですかね。それをしっかりしてくれということをお願いしたところでした。

・7月9日、南郷中のシーカヤック体験をちょっと見させてもらいました。もう10年ぐらいになるらしいんですけど、1年生2年生3年生、学年分けてですね。南郷の栄松の海水浴場で元気にやりました。

・10日の日に吾田中学校に行ったんですけど、吾田中学校って実は今不登校の子たちで教室に上がれない子がいるんですけど、そういう子たちにはですね、部屋を設けて、もう今までは3年生はこの部屋、2年生はこの部屋とかやってたんですけども、学年を超えて1つの部屋にしたらどうかってことで。担当の先生もですね、1人なんとか配置、自分とこの学校の中でやりくりしてやってて、そこをちょっと見に行きました。場所とかですね、やっぱり不登校の子たちなので、入口とかですね、非常にやっぱり気になってですよ。人から目に着かないところとかですね、そういうのもちょっと見させてもらいました。今後このそういう部屋をどうしていくか、私どもとしてもどう関わっていくのか、もう少し様子を見るのかって

のは今後ですけども、1つ参考にさせてもらいました。

・それから校長先生たちのコンプライアンス研修。ちょっとここで挨拶させてもらったんですけども、これ毎年やっているんですが、教育事務所から来てですね。ちょっと先生たちの、学校の先生のわいせつ事案が続いていてですね。今回のこのコンプライアンス研修はそういう基本的なものと、ロールプレイですね。やっぱり何人かで組んで、そういうことをやってしまった先生たちに対する、校長としてどう関わればいいのかという研修だったそうです。私としては挨拶の中でやっぱり、しっかりその校長として普段からの目配り気配りとか、あとこうと決めたら覚悟を決めると、腹をくくると、そして最終的には校長が判断しなきゃいけないっていうことをお話をさせてもらいました。

・同じく10日夕方ですけども、日南エストレーラFC。これサッカーチームなんですけども、市長表敬に来てくれました。九州大会2年続けて出場の小学生のチームですね。

・それから11日、今度は日南剣道クラブ。吾田幼稚園の伊豆元園長先生がずっとやっておられるんですけども、これも2年続けて全国大会に出場するという事で報告に来ました。

・続けてWINIXバスケットボール。これ国のリーグがあって、その選手だった方が日南の地域おこし協力隊ですかね。それに来てもらっててその方が日南に残ってバスケの指導されてるってことで、チームを作って1年ですね。なんと九州大会に出るってことで、市長表敬に来てくれました。

・それから14日は小村太郎奉賛会。そして日南姉妹都市友好協会の理事会。両方ともこれ去年の総括と今年の予定なんですけども、参加させてもらいました。

・同じく市町村教育委員会教育長会議。これオンラインだったんですけど、文科省がですね、新しいことを。働き方改革で今度は国が指針を出すから、それに合わせて県とか市町村は計画を立てろってことなんです。その中にはなんと健康面も入れなきゃいけないということで、それを来年には作るということで、うちで言えば働き方に関する方針を出してますから、そういうのをうまく使って作ってくれればいいって話でした。合わせて今度は、今「校長」「教頭」「主幹教諭」「指導教諭」「教諭」なんですけども、それにもう1つ職を作る。「主務教諭」って言ってですね。なんかリーダー的な先生を1つ作りたいなということで、それも進めていると。1つ職が増えるってことみたいです。今なかなかこう先生たちの働き方改革の中で、一人に負担が行ったりとかしていますので、そこら辺をうまくまとめてくれる先生を作りたいなということみたいです。そういう伝達がありました。

・続きまして16日、県の特別支援教育課の課長が来たんですけども、日南高校にいよいよ4月からね、特別支援の学校で分教室みたいなものなんですけどできるってことで、挨拶に来てくれました。

・今度はまた表敬で、実践空手の八代選手。21歳なんですけども。世界大会で優勝したということで、また表敬に来られました。

・17日、社会教育委員の会議。これ年2回あるんですけども、本市の社会教育のいろんなことに関してご意見をいただくという会議で、まずは今年第1回ですので、去年の実践、それをわかっていただいて、それに対するご意見をいただいたというところでした。

・続きまして 18 日、宮崎県民総合スポーツ祭の報告会をやりました。毎年やるんですけど今年は去年と比べてですね、優勝した団体が多くてですね。特にソフトテニス男女、そして壮年の男子と。男女が優勝で、壮年の男子が準優勝ということで、あと野球も 19 日にあったらしく優勝したということで、非常に盛り上がりました。テニスの女性の方は初優勝らしくてですね。男性の方も 20 年ぶりぐらいという話でした。

・22 日、今度は税務署に新しい所長さんが今度は熊本からお見えになってですね、挨拶に来られました。

・そして 24 日。今隣でやっております、スポーツ担当課長会議ということです。

・今日はこの後自治会の連合会総会がありまして、部長と私は参加させていただく予定です。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

6 月 24 日、教育委員会とはまた別なんですけれども、吾田東小学校の運営協議会に入っていて、そちらの方に出席いたしまして、現在の学校の状況と今後の運営の進め方について伺いました。特に印象に残ったのは、一部教科担任制を導入したことによって、先生たちの負担がかなり軽減されたということで、非常にですね、良い取り組みだなと感じました。

続きまして 6 月の 26 日。市町村教育委員会のオンライン会議の方に参加しました。私の方ではまず「教育委員会の機能強化・活性化」について話し合いまして、他の地域の取り組みについても学ぶ良い機会になりました。中にはホームページやInstagramを活用して、教育委員の取り組みをわかりやすく発信している市町村や、また市民の直接の声を聞く機会を設けている自治体もありですね、大変参考になりました。一方で日南市においても独自性のある魅力的な取り組みが行われておりまして、そちらも紹介させていただいたんですけれども、他の地域にも引けを取らない十分に誇れる内容であるなと改めて感じたところでございます。

続きまして、「公立小学校と中学校の適正規模・適正配置について」という、そちらの分科会にも参加して第二部で話し合いまして。この件に関しては少子化に伴って、やっぱりどちらの市町村も悩まれている様子でして、まずはその子供たちにとっての最適な環境と、あと地域住民の方々、保護者との対話の場づくりの大切さっていうところをですね、改めて感じさせていただきました。

7 月 9 日、民生委員の推薦委員会に出席してきました。日南市の方では定数 174 名の民生委員・児童委員及び主任児童委員の選任が必要ということなんですけれども、やはり近年は担い手が少なくてご苦労されている様子でございました。

最後になります。7 月 16 日。新たに着任された校長先生の歓迎会の方に参加させていただきました。新しい先生のお話の端々に、温かさともた信念を感じてですね。またこれからの学校の未来に期待が膨らむ素敵なですね、時間を過ごさせていただきました。

【佐藤委員】

発達支援事業所関係ですね、小学校の方に保育所等訪問を。名称は保育所なんですけど、学校に行って、特に保護者の方の要望があれば、クラスに入ったりしてですね。うちの卒園生のサポートをしたりとか、何校か行かせていただいたんですけど、やっぱり人が足りないということで。ある学校はですね、支援学級が望ましいということで、就学支援委員会でそういう判定が出て、保護者の方もそれをご理解されて、意を決してといいますか、やっぱりうちの子は支援学級なんだと。でもそれが一番ベストなんだって入ったはいけど、その支援学級の先生がちょっとご病気になられたりとかですね。そういうことで欠員状態の、ちょっと機能してない学校もあって。そうなるともう非常にですね、交流学級の先生がその子を見ることになっているみたいなんですけど、当然そういう支援学級が望ましいと言われた子なんで、簡単にはいかないわけですよ。となると本当にお互い不幸だなあと。担任の先生は一生懸命されてるんですけど、難しい。そうしたらもう当然保護者の方はちょっと話が違ってくるということで学校側にね、どうなんですか。学校は学校の方で一生懸命体調が悪い先生のサポートをしたりとか、できれば代わりの先生を配置しようとか、いろいろ力を尽くされてるみたいなんですけど。何とかなんとかこう、学校間でその辺は助け合うとかですね、そういうのはできないのかなとかちょっと思って、それがちょっと胸が痛かったですね。

【谷口委員】

まず、6月26日の教育委員のオンライン協議会に参加させていただきました。分科会の1回目は私は「不登校といじめ対策について」なんですけど、やっぱりどの学校さんもそれを悩んでいて、結論としてはもうやっぱり一番最初に摘まなきゃいけないというのがあって、それをどうやって気づいていくのかっていうので、紙のアンケートにするのか、タブレットのアンケートにするのかっていうのでやっぱり2つに分かれて。タブレットの方が先生たちの集計業務は楽になるけど、手書きには手書きの良さっていうのがあって。例えば、1回書いて消した跡が見れるのは手書きの方だって話になって、その手書きの消した部分がやっぱり本当の気持ちなんじゃないのかなって仰っている教育委員の方がいて、そうかもしれないっていうふうにみんな。紙は紙で集計も大変だけど、でも子供の気持ちがちゃんと現れてくるのは紙かもねなんていう話になりました。

やっぱりお母さんとお父さんも、そのおうちの人も、自分の子供がもしかしたらいじめられてるんじゃないか、不登校の場合はもう絶対わかるわけで、そこでその子供たちを1人にしてはいけないし、お父さんとお母さんたちも1人にさせない。そんなふうな取り組みを学校でできたらいいよねっていう話になりました。そして、最初に気づく時っていうのはどういうふうにしますかっていうふうに質問させてもらったんですが、その時に低学年と高学年はやっぱり違って、高学年になればなるほど絶対言ってこないし、違う言い方をしてくるからまず低学年の子に対してアンケートをと。手書きは難しいけどタブレッ

トでということで、実際に幸手市の教育委員の方が見せてくれました。うさぎさんが4匹いて、ニコニコ笑ってる、ちょっと悲しい、考えてる、怒ってるっていう。4匹のウサギさんを見せて、そこで今日はどんな気持ちですかって聞くっていうのを、毎日ではなくて1週間に何回か、それを低学年、3年生ぐらいまでする。そうするとちょっと分かるようになってきましたっていう方がいて、絵の方が低学年には良いのかなあと。

あとはもうその高学年になると SNS のスキルが入ってくるのでちょっと先生は気づくのが難しいけど、でも子供たちはその SNS を何回もこうちょっとチェックしたりとかするのがあるから、そういうので気づいていったらと。やっぱり高学年のいじめはちょっと難しいよねっていう話で、もうそこが課題だよなというふうに1回目は終わりました。

もう全然時間が足りなくて、分科会の2回目は今度は「地域と学校の連携」で、これももうまずもうどの地域も担い手がいませんっていう。地域の魅力を伝えたいんだけど、それを継承していく若い人がどうしてもいない。今やってる方々も60歳とか70歳80歳90歳という方がいるので、その子供に伝えたいけどちょっとね、伝えるにもそんな体力がないから何回もいろんなとこに出たりできない。だから若手を見つけれのが大変ですっていう話から始まり、あとはコミュニティスクールっていうもののあり方で、例えば見守り隊っていうのもあるけれども、他の1つの県の方が、車を運転している時に子供が学校から帰ってきましたって言って、もうどこの小学校ってわかったからお帰りって声をかけたら防犯ベルを鳴らされそうになったって。要はその子供たちは知らない人ってやっぱり思うから怖いと。じゃあその話を聞いた地域の人たちは、どうしても子供に関わりたんだけど、防犯的な部分でちょっと申しわけないような気持ちになるっていう方がいて、確かにそうかもしれないって。学校がやっぱり地域に対してもっと学校の情報を開いていけたらいいなあって言う話になったんですけど、教育委員の1人の方が学校の先生だった方で、大阪の事件以降、学校の防犯に対するちょっと危ない、ネガティブな質問とかもすごく増えて、ちょっとコンプライアンスの問題と防犯面の問題の両方が学校側はありますっていう話がされていました。なので地域の方に関わってもらいたいけど、ちょっと防犯面の心配はやっぱりある。今後は要は学校開いていくんだけど、それに開けば開くほど防犯面の対策もしっかりとっていかなきゃいけないなっていうところで、話し合いが終わりました。またこういうのがあったら、そういうのも話せるといいなと思いました。

【八木委員】

私も26日に市町村教育委員会のオンラインの方に参加させていただきました。毎年大体人口が五、六万、同じ程度の委員さんたちと。今回は6市町村だったんですけど、お話しさせていただいて、1個目は「不登校対策について」ですね。どの市町村も大体支援センターを運営しているようです。今日話もありましたけど、やっぱり校内支援の居場所作り、専門家を育成してちゃんとそこに配置するっていうのが課題のところで、もう終わってるところもあるようでした。あと保護者の会を開いてるっていう市町村もありました。

あともう1つは、これ初めての議題だと思うんですけど、「公立中学校の適正規模・適正配置について」ということで、さっき別府委員からもありましたけれども、人口が増えるので全く必要もないですっていうところもありましたし、もうまだこれからというところもありましたし、もうすでに始まって学校統廃合してるところもありました。大体平成28年から検討に入って、令和10年に開校とかですね。令和2年から始めて9年に開校とか、大体7年から10年かかってますね。多分、日南市もやっぱり教育環境の充実とか財政負担の軽減を見据えて複式学級の改修と、文科省で言う全学校が12クラス以上になるという、そこを目指してこれからそういう話が始まるのではないかなと考えてます。これは本当に必要なことなんじゃないかなと思うんですけども。その中でやり方として、施設一体型っていうんですかね。やっぱり地域のコミュニティとの共存ってのはすごく重要なので、体育館とか図書館とかコミュニティセンターとの施設一体型の義務教育校にするとか、そういうところが結構増えてくるのかなと。1つの学校作りで6億かかるということで、中学校に増築したりとか寄せる形っていうのをどこもされてるようです。例えば伊万里市でしたら中央部はもう中学校区ごとに小学校統廃合。周辺部は義務教育校にみたいなことでやってるということで、今度教育会議もありますんで、その辺でもまた。大体こういうのって教育委員会というよりは市長部局から降りてくるという政策が多いということなので、またお話し合ってきたらいいのかなと思ってます。

あと先ほどもありましたけど、フードリボンプロジェクト。あれは新聞で私も読んだんですけど、大人が飲食店で300円寄付すると、子供たちが食べられると。給食もないですし、やっぱり必要な子供たちにそれが口コミでも伝わるといいのかなあと思うので、ちょっとその辺のことが、子ども食堂でも思うんですけど、そっちの方ももうちょっと皆さんに伝わるといいのかなと思いました。

あとわいせつ事案の話もすごい気になってて、どこに行ってもその話がありますよね。この間ちょっと友人と会食した時も、もう4人のうちの3人があるあるあるって話で、そんなに珍しい話ではないのかなと。だからここはしっかりしていかなきゃいけないのかなと思いました。

9 前回の議事録承認

第3回の議事録について了承

10 議題について

議事 1 ふれあいコミュニケーションについて

(武田主任主事)
(都甲教育長)

ふれあいコミュニケーションについて説明。

ご覧になってわかるように、1 時間 15 分しかありませんので、あんまり広げ過ぎても中途半端に終わるなと思って。テーマとしては 2 つぐらい皆さんから出してもらったやつから選んで、事前に参加してもらって教頭先生たちにもそれを投げておいて、考えてもらうということでもよろしいでしょうかね。

学校の現状をしっかりと伝えてもらうってことと、教育委員さんといろいろ意見を交わしたいことがあったらぜひ出してもらうってことで、よろしいですか。また 5 名の教頭先生方にはそういうふうに伝えておきます。よろしくお願いします。

議事 2 県外先進地視察について

(武田主任主事)
(都甲教育長)

県外先進地視察について説明。

去年高千穂に行ったので、さらにどっか行っちゃおうということで。早めに期日をお知らせして、一泊ってことになるので。予定もあると思うからですよ。一泊ってことなので、なかなか無理も申せないんですけど、そこは遠慮なく言ってください。

中身がですね、朝出て、こっちから行って、昼ごろ着いて。まず向こうの教育委員会の説明を聞くと。前みたいに教育委員さんとの交流はなしにします。向こうの調整が大変だからですね。

向こうから ICT の話を聞いて、翌日朝出てどこかの中学校小学校 1 校ぐらいずつ ICT をね、しっかりやってる学校を見せてもらって、戻ってくるというような流れかなと。

だから実質、1日はそういう勉強にして、あと1日は移動の時間にするってことで。

(佐藤委員)
(都甲教育長)

佐賀とか進んでますよね。

これなかなか費用の関係もあって、九州管内なんですけど、でも九州管内でもやっぱり一生懸命やっているとこがあるので、来月ぐらいには何とかね。場所と期日がね、お知らせできるようにしようと思いますので、ぜひまたご協力ください。お願いします。

1 1 報告について

報告 1 市議会定例会報告（6月議会）について

(鬼東部長) (佐藤委員)	市議会定例会報告（6月議会）について説明。 予算面でなかなか大変ということで、特にそれはわかるんですけど、教育関係のいろんな課題については、たくさん予算をつけて、将来投資ということでやっていただけるといいなと。
(都甲教育長)	例えば不登校支援ということでですね、延岡なんかは何ですか、「熊野江教室」。いろんな多様な学びを保障する施設とか、こういうのもまた予算はかかるんでしょうけども、やっぱり子供たちへの投資っていうのは本当に効率がどうのっていう問題でもないんで、やっぱり義務教育が受けたくても受け入れない状況にある子たちですね、助けになるし、また将来の市にとっても大きなリターンがあるんじゃないかなということで。そういうのとかその e スポーツの施設とかもですね、やっぱりお金がかかるっていうことなんですけど、これもまた様々なメリットもあるんで、何かそういう教育環境の充実に繋がるようなことはですね、またできれば予算がつくといいなというちょっと感想を持ちました。 予算については全体的に今厳しい中ですからね、なかなかっていうのはあるんですけど。だからこそなおさら、皆さんのご意見聞きながら、何をやっぱりやらなきゃいけないとか、そういうのを考えていかないといけないのかなというふうに。みんながそうやって、他の市長部局の他の課も欲しいというのものもありますからね。そこら辺はまたぜひ、また意見を聞かせていただければと思ってます。
(八木委員)	この間話にありました自然教育についてですが、やっぱり猪八重溪谷の活用がすごく少ないので、今年の 5 月の連休に河野知事がご夫婦で来られて、インスタに長々とすごい素晴らしいプログラムでしただって書いてあったんですけど、もっと周知しているんな人が活用できればいいのになあと思うんですけど。
(谷口委員)	私もこの猪八重溪谷は潟上小学校の遠足のもう大定番になっていて、子供たちの遠足の場所で一番楽しい場所とはいえば絶対猪八重溪谷って入ってきて、あそこで何するのって言ったら苔の種類を学んだり、化石を探したって言って。子供たちはね、すごくこの猪八重溪谷が好きで、これ漢字読めないんですよ皆。でも潟上小は読めるんですよこの漢字。で、それだけではなくて、トンネルとかに

	もこの「猪八重」って入っているらしくて、このトンネルの名前が出てくるみたいで、それを見るたびに、もうここ、ここ面白い。ここが良い、ここに行きたいって言うぐらいなので、ここ本当に観光の1つとして。何かもう今の中学2年の娘も猪八重溪谷の話はいまだにするぐらいなので、ここはもうちょっとみんなが行くといいなと。小学校1校だと、なんか悲しいなと思って。行くとおもしろいのにと思って。
(都甲教育長)	何か調べたら、もう潟上小は10年以上行ってるんじゃないですか。ずっとここは何かの事業があって、うん。それにはまったみたいで、そこからずっとやってるみたいですよ。
(谷口委員)	もう楽しいの定番ですよ。
(佐藤委員)	宿泊学習とかね。
(谷口委員)	キャンプができるところが近くにあるって聞いてるんで。
(佐藤委員)	蜂の巣キャンプ場もあるし、その公民館もあるし。
(谷口委員)	ここいっぱいあるって言ってたんですよ。子供たちもなんか遊べる場所もあるって言ってたから。もったいない状態だと思いますよ。もう子供たちの顔が違いますね。もう楽しいから、雨って言うともうショックを受ける。
(都甲教育長)	授業がですね、結構いっぱいになってしまっただけで今の学習指導要領で。それで、余剰時間って言って、余ってる時間があるんじゃないんですよ。結局台風とかで授業がつぶれたり。それで行事を削減した時期があって、でも今回のコロナで結構やれるんじゃないかって。その授業ちょっと削って、それで削ってもいいよってなったんですけど。だからたくさん増やした余波として、中学校は遠足がない学校は結構あるんですよ。年間を通して。もうね、考えられないと思うんですけど、ないんですよ。もう最初から。 ですから学習指導要領が今度変わるんですけど、どうなるのか。授業時数の削減があるかどうか、それがあつたらまた少し余分な時間が出て、行事なんか使えるんですけど。 この前ちょっとある学校に聞いてみたんですよ。そうは言うけど遠足の復活どうかなって管理職に聞いてみたら、結局先生たちの出張とかもあって、授業がつぶれたりなんかして、結局後から授業を入れなきゃいけないとか。でも以前と比べたらですね、うまく後に誰か入って授業をやってくれてるんですけどね。そのやりくりがなかなか大変だということですね。
(別府委員)	吾田東中学校でPTAの家庭教育学級で行ったことがあって、だか

	ら今こういった PTA 活動が少なくなってるから、そういった学校ができないことを PTA がバックアップしてそういったところに連れて行くっていうのも 1 つの何か手なのかもしれないなと。
(八木委員)	だから大島プログラム良いですね。
(別府委員)	すごい、今はそういう体験が少ないからこそなあと。
(都甲教育長)	だから、生涯学習が今度やるんですよ。むかばきに行くんですけど、小学生は 20 名募集しています。でも申し込みが少ないんです。
(佐藤委員)	お金が高いんですか。
(都甲教育長)	そうでもないんですけどね。2000 円ぐらいです。夏休み中だったら良かったんですけど、ちょっと時期がずれて 9 月の最初の土日ですね。何人って言ったらびっくりするぐらい少なくて。
(佐藤委員)	もう塾とか習い事とか。
(都甲教育長)	少年団の練習とかいろいろ忙しいんでしょうね。もっと集まって欲しいと思ったんですけど。
(八木委員)	生涯学習課でされた大島の時は 120 人だったかな、募集。私も手伝いに行ったんですけど、120 人来てました。生涯学習課には続けて欲しかったですね。
(都甲教育長)	生涯学習課としては久しぶりに子供たちのそういうのを組んでくれたんですけどね。なかなか県南の子はむかばきとか行かないからですよ、延岡。
(佐藤委員)	経済的に苦しい家庭とかはですね、ちゃんと説明すれば応募するかもしれないですけど。そういうところはもうはなから無理無理みたいな感じで、もう関心がないですもんね、親。
(都甲教育長)	だから伝わり方なんですよ。
(佐藤委員)	だから体験格差ができてしまうから、そう使うとか。
(八木委員)	1 つの講座 30 人に大体 200 人ぐらい来るんですよ。全部どの講座も多いです。化石とか。日南独自の何かをやると。
(都甲教育長)	日南の夏休みのね、塾やっているじゃないですか。今日がちょうど木工だったんですけど、もうこれは定着して非常に多いんですよ。こういうふうになればね、もう本物なんですけど、うん。明日は陶芸なんですけど、陶芸はもっと多いらしいです。昨日がエコバック作り、今日は木工、明日は陶芸っていうふうに、そういう体験をする機会がやっぱり本当に減ってるので、何とかね、そういうのをふやしたいなと思ってるんですけど。
(佐藤委員)	むかばき良いですね。
(都甲教育長)	もうちょっと聞いていただくと、私県央の学校にいたので、毎年

のようにむかばきに行っていたんですよ。夏の生徒会のキャンプで、ものすごく良いですよ。滝のところまで先に先に、ハイキングをやるわけですよ。なんかそういうことをしていけばなんかね、子供たちの心がね、もっともっと育っていくのかなと思うんですけどね。

1 2 その他

(1) 8月行事予定について

【都甲教育長】

わかすぎ塾ですけど、今年はちょっと他のところに頼んでですね。高校生あたりに起業について、事業を起こす「起業」ね。そういうことを教えるっていう方たちがいらっちゃって、ちょっとその方に頼んでですね。このわかすぎ塾っていうのは、8月は3年生がもうすぐ生徒会終わりっていう時期なんですよ。そして12月に改選があって、これから1年間頑張るっていうタイミングです。だからそれ考えると、このわかすぎ塾っていうのは、8月は1年間3年生がやはりいろんなことやってきて、今度は自分の資質を上げるためのものを何かやったらどうかなと思って、試しに今年やってみようと思っています。12月は今まで通りやっぱりいろんな学校と交流しながら、1年間自分の学校はどういう生徒会活動をやっていくのかというような形でできないかなあと思ってですね、楽しみにしてるところです。

それから先ほど言いましたように、8月20日は教育講演会。非常に高校生楽しみにしています。別府委員には申し訳ないんですけど、県の弁論大会で審査員ですので、よろしくお願いします。やっぱりせっかくですので、市長にちょっとやってもらおうかなと思ったら、市長もなかなか時間が取れなくて、市長はなかなか話を聞けないんですけど、結局市長と一緒にご飯を食べることもありました。彼女たちは市長と話をしながらご飯食べて、緊張するだろうなと思っていますけど、お話をする前にご飯を食べることになりました。そのあとにやっぱり県南の被爆者の方もぜひ彼女たち会いたいということなので、時間をとって話をする時間を設けるってことです。先生たちがですね、自分が今日の前にいる小学生中学生が大きくなって、こういう姿とか、そういうね、先の姿を想像してもらえればなあと思っているんですよ。合わせてやっぱり平和についてまた学校で話をしてくれればと思ってですね。80年という節目で、なかなか良い人が来てくれたと思います。最初は実際に長崎の被爆者団体の方をね、お願いしたんですけど、やっぱり皆さんご高齢で。向こうが言われたのは「ちょっと体調もわからないので」って。では高校生でと言ったら快く受けてくださいました。ぜひ皆さんも来ていただければと思っています。

【佐藤委員】

びっくりされるといけないので、8月1日の「知事との本音トーク」。実は私も呼ばれています。

それとですね、こども議会。これ、あれですよ。小学校中学校からも。

【都甲教育長】

そうそう、午前中がこども議会。

【佐藤委員】

ぜひ、発表してよかったなあって子どもたちになるようにですね。

【都甲教育長】

やっぱり僕は盛んに言うんですけど、なかなか難しいんですよ。結局身にならないといけないってことです。例えば提案したことが、それが実現するとか。何か一考とかですね。

【佐藤委員】

できれば、「予算がないのでできません」という答弁はないほうがいいなとか。

【都甲教育長】

各課の対応としてはやっぱりこう、子供たちが言うことなので、かなり文章は練ってくれています。極端に言えば、「自分たちもこれから頑張るから、あんたも頑張れよ」と言い方はいけないなって。やっぱり、しっかりこう、まずはもうちゃんと受け止めて、そうですね。理想としてはこっちはこっちで実現させてあげたいんですけど、やっぱりいろんな絡みがあって難しい面もあったりとか。

市長がね、自分の裁量で何かもうちょっといいねって言ってくれるとかっこいいですけど、ただやっぱりいろいろ問題があるみたいで。

【佐藤委員】

聞いてくれたっていうのが伝わればいいんですよ。

【都甲教育長】

だから、こども議会についてはもうずっとやってて、続けて欲しいという意見もあるものですから続けたいんですけど、ちょっとやり方もね、考えていく必要があるのかなとか。毎年同じじゃなくて、ちょっと子どもたちとか学校にアンケートとか取ってみて何かありますかと、そういうふうにして。一番は子どもたちなので。

子どもたちはまずあそこに来て緊張しながらしゃべるってことで1つ経験ができ

るってということもあるし、今度は中身もですね、しっかり考えてきてくれて話して。そういうところで大きな成長になればなと思っていますけどね。いや本当は何か実現すれば一番いいんですけど、ベンチを作りましたとかね。

(2) 総合教育会議

- ① 日時 令和7年8月21日(木) 午後1時30分から
- ② 場所 日南市役所・本庁2階会議室1・2

(3) 第5回 教育委員会会議(定例)

- ① 日時 令和7年8月21日(木) 午後3時から
- ② 場所 日南市役所・別館1階会議室2

(4) その他

【武田主任主事】

8月21日の総合教育会議につきまして、取り扱う議題のご希望がありましたら、7月31日までに事務局へご教示ください。なお、議題の集計及び総務課への提出を事務局が行い、議題の選考については総務課が行います。ご提出いただいたすべての議題を取り扱うわけではございませんので、その点ご了承ください。よろしくお願いいたします。

【谷口室長補佐】

明日7月25日なんですが、ひなたの宿で2時から国スポ・障スポ日南実行委員会の総会を開催しますので、委員の皆様は連日で大変恐縮なんですがよろしくお願いいたします。

13 閉会